

◆各施策の今後の方針 第3回都市経営市民会議（R2.11.17開催）でいただいたご意見の反映について

資料2-2

政策	施策	いただいたご意見・提案等	ブラッシュアップの方向性
政策1	施策04	<p>◎主な取り組み①「学びの推進・支援」の指標に関して、「児童・生徒のICT活用を指導する能力」が学校側の自己評価であり、かつ、学校の合計数から判断したものとすると、指標として分かりづらい。</p> <p>◎「児童・生徒のICT活用を指導する能力」という指標名が分かりにくい。</p> <p>◎学校地域パートナーシップ事業地域ボランティアの方に参加して判断していただくような評価の仕組みも考えられる。実際に、地域の人にも関わってもらう等、何か自己評価以外の評価があるとより良い。</p>	<p>◎学校側の自己評価ではありますが、ICTを取り入れた学習スタイルの浸透度合いを知るための一つの指標として、現状のまま設定したい意向です。</p> <p>◎指標名は、算出に使用している「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の項目名に合わせたものであり、そのままとしたい意向です。ただし算出方法の欄に、アンケート対象者及び回答者について追記し、どういう指標であるかを説明するよう修正しました。</p>
政策2	施策07	<p>◎新型コロナウイルス感染症について、具体的な指標は記載できないかもしれないが、何らかの文言を入れたほうがより現状に沿った計画になるのではないかと。</p> <p>◎今後の国や県の動向やワクチンの開発等が流動的である現状を鑑みたなかで、社会情勢に対応して、何らかの記載が必要ではないかと。</p>	<p>感染症対策の推進において「新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症対策」を明記するよう修正しました。</p>
政策4	施策17	<p>「商工業の振興」の主な取り組み①「企業の活性化」に関する指標「各種補助金申請件数」について、現状値7件から、R14では98件と飛躍的に伸びているが、累計値なのか。累計値であれば、単年の目標設定に変更すべきではないかと。</p>	<p>景気や社会情勢の変化による影響を大きく受ける指標であるため、毎年一律に7件を目標とするのではなく、4年単位での累計目標とし、継続して事業を実施していきたいと考えておりますので、指標の目標値は現状のままとしたい意向です。</p>
政策6	施策28	<p>「上水道の基盤強化」の指標について、経常収支比率の注釈内容が不十分と思われる。一般会計の考え方ではなく、企業会計における比率というような説明が必要。</p>	<p>ご意見を踏まえ、注釈を以下のとおり修正しました。</p> <p>◎記載内容（下線部分が追記箇所） 経常収支比率…企業会計において、受水費や維持管理費等の「経常費用」が、給水収益等の「経常収益」によってどのくらい賄われているかを示すもの。この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、これが100%未満であることは経常損失が生じていることを意味する。</p>
政策7	施策32	<p>「情報とICTの利活用」の指標について、AIチャットボットがどういったものなのか、補足説明が必要と思われる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、資料編の用語解説において「AI」「チャットボット」の説明を記載します。</p>